

献上桃決定通知交付式

23年連続で献上桃指定受ける

献上桃決定通知交付式が6月17日、役場で行われ、県北農林事務所からJAふくしま未来と町へ、決定通知書が交付されました。

献上桃は、今回の指定で23年連続となります。指定を受けて、高橋町長は「生産者、町民にとって喜ばしい出来事。商標登録をPRし、さらなる町の知名度アップを図りたい」と述べました。今年の収穫は、例年より一週間早い見込みであり、選果式は7月27日を予定しています。



▲（左から）水戸典明県北農林事務所長、佐藤廣武 JA ふくしま未来理事、高橋町長

災害対策の拠点として

役場新庁舎建設の検討に入る

高橋町長が6月21日から行われた第4回桑折町議会定例会で、新庁舎建設の検討に入ることを表明しました。

東日本大震災・熊本地震に鑑み、安全・安心の確保のためには、災害対策活動拠点として役場庁舎の機能がきわめて重要です。町では、新庁舎建設に向けて、庁内中堅職員で組織するワーキンググループで検討に入りました。6月6日には石川町新庁舎の視察を行いました。



▲環境にやさしく、防災拠点の役割も備えている石川町新庁舎を視察

若者の声を政治へ

18歳からの選挙はじまる

本年6月、改正公職選挙法が施行され、第24回参議院議員通常選挙から適用されます。この法改正により選挙権年齢がこれまでの「20歳以上」から「18歳以上」に引き下げられます。これは、日本の将来を担う若い世代が、より早くから選挙権を持つことで、社会の担い手であるという意識を持ち、積極的に政治に参加してもらいたいという意図があります。若者をはじめ多くの声を政治に反映させるため、大切な一票を投票しましょう。



福島工業高校3年 菅野大樹さん

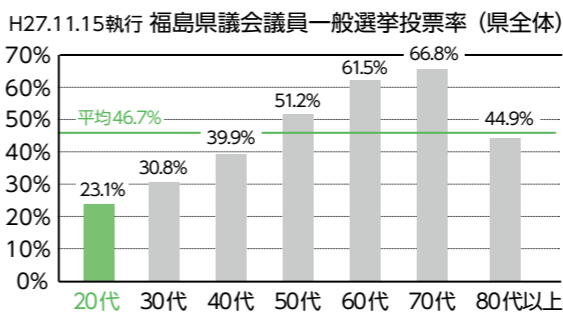
若者の意見が政治に反映されるのは良いことだと思います。自分の将来に関わることで、投票に行きたいです。



聖光学院高校3年 千葉里保さん

自分の1票に責任が持てるように、選挙の仕組みや政治について学び、投票に行ってみたいと思います。

選挙権を得た高校生にインタビュー



◀20代の投票率は、他の年代と比べて最も低い水準となっています。投票率の向上には、若者の積極的な参加が必要です。

第24回参議院議員通常選挙忘れずに！
7月10日(日) 午前7時～午後6時



「心をつなぐ」
ハート
半田山

山頂付近になるにつれて、徐々に傾斜が急に。参加者らは声を掛けあいながら、山頂を目指しました。疲れがピークに達する頃、ハート型の半田沼「ハートレイク」が目の前に広がります。歓声が上がリ、参加者の疲れも一気に吹き飛んだ様子でした。ビューポイントが過ぎると、間もなく頂上です。山頂ではお神酒が振る舞われ、記念パッチが配られました。眺めを楽しむ人やベンチに腰掛けひと休みする人、おにぎりを食べる人など、山頂でのつかの間のひとときを各々に楽しんでいました。



1



3



2

- ①縁結びスポットとして知られるハートレイク
- ②③④カップルやご夫婦で登る人も多くいました
- ⑤マルベリーこおりのガイドが山野草を解説
- ⑥勇壮な銀山太鼓披露
- ⑦山頂のビールは格別の味
- ⑧下山後は豚汁が振る舞われました



6



4



8



5